

はじめての社会で急成長◎

ものくみ ☺☺☺☺

はじめての幼稚園選びの決め手になったのは3つありました。1つ目は支援センターで耳にした「むらさき幼稚園は自由な教育方針で、のびのびしている」「過保護にならない園」という評判。2つ目は見学の際に☺☺が見せた嬉しそうな様子。そして3つ目は私自身が通っていた保育園の雰囲気と〝なんだか似ているな〟と感じたことでした。

願書の時期を逃してしまい、のんびりスタートした園選びのタイミングでしたが、多分ここに来ることがきまっていたんだなと直感し、入園を決めました。あの判断は間違っていなかったと、今しみじみ感じながら、母子ともに毎日楽しく通わせていただいています。

最近の☺☺はとってもおしゃべりで、いろいろな単語やお話がポンポン飛び出し、先生方やお友達との会話を楽しんでいますが、実は2歳半健診のとき、発語の遅れを指摘され個別相談の対象となりました。単語しか話せなくても、動作や親の手を引いて意思表示することはできていたため大きな心配はしていなかったものの、療育施設の利用を勧められ、考え始めていました。そのことを入園時に相談すると、前園長先生が「今はそんなこと考えなくて大丈夫。これからどんどん成長しますよ。何の問題もありません！」と力強く言ってくださいました。その言葉どおり、入園後はどんどん言葉が増えていきました。「☺☺ちゃんもやる！」「今日プレイホームある？」「おとうさん、きょうお仕事行く日？」「ジュースは冷蔵庫にあるよね？」こんな風に言い始めた頃は胸が熱くなるほど嬉しいものでした。

最近は「もう4歳だからね」と得意げに言い、自分でできることが増えた実感を楽しんでいる様子です。その姿が面白く、頼もしくもあります。また、2歳下のいとこに優しく接する姿を見ると、先生方や年長さんにかけてもらった言葉や関わりを、自分なりに再現しているのだと感じます。そして園生活でも最も驚きありがたいことはお迎えの時に、先生方はもちろん、他のお母さんからも☺☺の様子を教えていただくことが多く、「☺☺ちゃんにこう言ってもらったよ」「こんなふうに接してくれて、いつもありがとう」と伝えていただくことがあります。園でのお友達との関わりや成長を、家族以外の目で見守ってもらっていることに感謝いたします。

更には食の面でも成長を感じています。以前は初めて見た食べ物や「食べない」と決めたものは、どんなに勧めても口にしませんでした。ところが、幼稚園での給食やおやつをみんなで食べるという経験を通して少しずつ変化がありました。パンの種類が増えて食べられるようになったり、苦手だったケチャップがついたものも「食べてみよう」と頑張り、食べられるようになりました。10月の〝おいもほり〟で自分が掘ったおいもを調理するのを一生懸命手伝い、おいもチップスを作りました。「おいもがたべられるようになったね」「おいもって栄養あるよね？」「つよくなったかな？」と聞いてくるなど。本人もそのことがとても嬉しいようで、喜びあっています。みんなが楽しそうに食べている様子や、「やってみたい」という気持ちに背中を押され、挑戦する姿を見て、本当に良かったなと感じています。

このように言葉や心、食の面での変化を日々感じることができるのは、特定のカリキュラムに縛られず、子どもが自分で考え、自分で遊び、学ぶこと、さまざまなきっかけを大切にしてくださる園の環境のおかげだと思っています。帰宅後も自分なりに工夫して遊ぶ姿が見られ、幼稚園で過ごす時間が大きな力になっているのを実感します。

むらさき幼稚園に出会えたこと、先生方や保護者の皆さんに日々温かく見守っていただけることに、心から感謝しています。

これからも、たくさんの経験を通して、☺☺らしくのびのびと成長していってほしいです。

